



# 陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2010年10月-11月号

Vol.16

## 支援者の皆様へ

### 皆様へ ～F V Iの働きについて～

支援者の皆様、いつもお祈り、ご支援をありがとうございます。

皆様のお祈りに支えられ、8月30日に本郷台キリスト教会にて「F V I設立総会」を終えることができました。交通費もお支払いできないスタートにもかかわらず、全国から12名の方々が集まってくださり、私たちの小さな船出の瞬間に居合わせてくださいました。また集まった方々の中から志を共にし、正会員、役員としてF V Iの働きを担ってくださる方々が起こされました。心より感謝します。

加えて、今年の4月からボランティアの湯本さんの協力により作成してきたホームページを公表することも出来ました。(URL: <http://karashi.net/>) 少しずつですが、私たちの働きが「輪郭」を伴って形になってきている、という実感を覚えます。皆様のお祈りとご支援、そして神様の驚くばかりの恵みによって私たちは前進させていただいています。心から感謝いたします。

## 活動報告

### 日本国内における全人宣教の取り組み (第五回)

これまでに練馬グレースチャペルの「江古田家庭訪問 (江古田ピンポン)」、久米島希望が丘キリスト教会の「久米島をホーリーアイランドに」といった取り組みを紹介させていただきました。今回は、私自身もそのメンバーである、「チーム江古田」の取り組みについて分かち合わせていただきます。

### 東京での「聞き屋」ボランティアと「チーム江古田」の取り組み

皆様に祈り支えられ、私はインド、エチオピアでの「全人宣教」研修を終え、昨年4月から東京を拠点に国内各地での「地域変革セミナー (ビジョン・カンファレンス)」や各地での講演、啓発活動、および「愛の筋トレ」や「シードプロジェクト」を中心とする継続的な全人宣教のフォローアップを行わせていただけてきました。振り返ると1年半近くの期間、日本国内において、主に教会やクリスチャンが全人的な福音理解に基づく宣教に動員され、整えられ、地域に神の国のインパクトをもたらしていく、と



江古田駅周辺ゴミ拾いの様子

ということのお手伝いをさせていただいてきたことになります。

「チーム江古田」は、自分自身も活動の主体である宣教活動のひとつです。「チーム江古田」の始まりは小さな「からし種」のようなものでした。昨年12月に、現在集わせていただいている練馬グレースチャペルにおいて、「江古田の街で聞き屋をやりたい。地域のニーズを知り、仕える一步を踏み出したい。」という私の気持ちを数名の方々に分かち合ったところ、3名の方が「それなら私も参加してみたい」と言ってくれました。

私ももうひとりの友人が、スケッチブックで作った簡素な看板を持って江古田駅北口の閉店した写真屋さんの前に座りました。12月のある日のことでした。人通りはまばらで、誰も立ち止まる人はいませんでした。何人かの人には「聞き屋 無料でお話聞きます」と書いたその看板を珍しそうに見ていきました。怪訝そうな顔で通り過ぎる通行人の方もいらっしゃいました。私たちは50分ほどその場に座りましたが、もっと長い時間のように感じました。冷たい北風が吹く江古田駅北口で、私たち2人は祈る心をもって50分間、そこに座ったのです。それが「チーム江古田」の始まりでした。

以来私たちは不定期で看板をもって駅に座ったり、駅周辺のゴミ拾いをするようになりました。徐々に教会の方々に「私も手伝いたい」という方が増えてきました。一人、また一人と加えられて行き、3か月が過ぎたころには関わってくれる仲間は10名近くにまで登りました。私たちは月に一度、定期的にミーティングを持つようになりました。集まったメンバーは、1か月の間、自主的に江古田の必要を見つけ、仕えました。私自身も聞き屋をし、ゴミ拾いをしました。そしてメンバーと共に「キリストが仕えられたように」地域に仕えられる特権を感謝しつつメンバーを励まし続けました。私は「聞き屋ボランティア」の責任者ですが、チームのリーダーではありません。いわゆる「旗を振り、みんなを引っ張って行く指導者」ではなく、チームメンバー一人ひとりのうちに神様が与えてくださった情熱や仕えるための素晴らしいアイデア、創造性、可能性、賜物を最大化し、神の国の貢献を生み出して行く「触媒（カタリスト）」のような働きをさせていただいています。

チーム江古田が活動を始めてから9か月が過ぎた今、メンバーたちは生き生きと地域に仕え、キリストの愛を持って地域の必要に応答しています。ほぼ毎週、誰かがどこかで聞き屋をしています。ゴミ拾いをするメンバーもいます。路上ライブを行うメンバーもいます。5月のミーティングでひとりのメンバーから出たアイデアによって、施設や病院に出向いて利用者や患者の方々から話を聞かさせていただく、「傾聴ボランティア」聞き屋を開始しました。



聞き方の勉強会「聞きトレ」



傾聴ボランティアのチラシ

聞き屋を行うメンバーたちは、聞くことについての勉強会を開いたり、聞き方について互いに分かち合ったりするなどして人の話を聞く技術を向上させようと努力しています。地域の人々が抱えるあらゆるニーズに、メンバーひとりひとりが自主性を持って仕えていく、という姿は感動的な光景です。メンバーたちは会うたびに「今週神様がこんな風に働いてくださった」という話しに興奮しています。「御国が来ますように」という祈りを、チーム江古田は一丸となって「生きて」います。



チーム江古田ミーティング風景

練馬グレースチャペルの教会の方々には祈られ、支えられながらこの働きが地域において用いられ、これまでの9か月の間で私たちは以下のような「実」を見ることが出来ました。

主にご栄光がありますように。

- 神が愛しておられる江古田の街の人々のために70袋以上のゴミを拾わせていただいた。
- 約30回の聞き屋を通し、70人以上の方々の「心のゴミ」を拾わせていただいた。
- 聞き屋を通して出会った高校生が何度か教会に来て、メンバーと一緒にゴミ拾いをしてくれた。
- 吉祥寺に住むメンバーによって「吉祥寺聞き屋」が始まった。
- 練馬グレースチャペルだけでなく、他の教会のメンバーとも一緒に奉仕することができている。
- 江古田の「聞き屋ボランティア」のホームページ（URL：<http://ecodakikiya.sp.land.to/>）が作られ、これまでに一名の方がメールでも聞き屋ボランティアを利用くださった。
- 練馬グレースチャペルのメンバー25人以上の方が一度はゴミ拾いや聞き屋に参加していただき、「イエスの愛に見える化する」という体験と喜びを共有することができた。

教会が、人々に対して神様のご愛を現す「窓」として機能することを願う「チーム江古田」の取り組みのために、皆様もお祈りくだされば幸いです。

## 各地での奉仕と活動（2010年8月～9月）

皆様のお祈りによって支えられ、8月、9月にも様々な場所で奉仕させていただきました。関係教会、団体の方々にこの場を借りて感謝申し上げます。

月日	奉仕内容	場所
8月9-11日	JECA 北海道地区 ティーンズキャンプ	ひだか少年自然の家
8月30日	F V I 設立総会、役員会	本郷台キリスト教会（横浜）
9月6日	ビジョン・カンファレンス第二回奉仕	蕎麦屋「なる堵」（埼玉県狭山市）
9月11日	スチュワードシップバザーにてインド活動紹介	カンバーランド長老教会（高座）
9月12日	F V I 活動紹介、デピューテーション	練馬グレースチャペル
9月18-20日	デピューテーション	津田キリスト教会（香川県）
9月30日	チャペル講演	大阪女学院中学
継続的に	全人宣教フォローアップと励まし	練馬など国内各地

集会の後祈り合う中高生たち



J E C A ティーンズキャンプ@日高



プレーヤーレターを書くたびに思うことですが、神様はこの紙面には書ききれないほどの祝福を、一回一回の奉仕を通して私に見せてくださっています。様々な場所において、得難い出会いがあり、神様がこんな者をも用いてくださり、神の国の貢献をさせてくださったという感動があります。また、自分が分かち合う事以上に教えられることが多く、奉仕を通して神様が変わり続けてくださっていることに感謝であふれます。すべてについて語ることはありますが、この2カ月でどうしてもひとつだけ紹介させていただきたい奉仕の機会は、8月にひだか少年自然の家で行われた J E C A ティーンズキャンプでのメッセージでした。

私は2泊3日のプログラムの中の3セッションを担当させていただき、「すべてのものには値札が付いている」というテーマで、「キリストの十字架の救いの値段」「世界におけるいのちの値段」「キリストの弟子となることの値段」という3つのメッセージをさせていただきました。中高生の心に、神様が語りかけてくださっていたのを感じました。最後のセッションでは、終わった後も1時間近く、誰も会場を去らず中高生たちが涙を流して祈り合っていました。その光景は感動的でした。自分の「次の世代」が、素晴らしいお方に賭けて人生を生きていくことに少しでも貢献できたとしたら、それは本当に大きな特権だと思います。「宣教のバトン」を次の世代に渡して行くことは、私の人生の働きの大きな一部であると感じています。また、スタッフの事前の準備と祈りによってこのような素晴らしいキャンプになったことも強く感じました。このような素晴らしい仲間と働かせていただける特権にも、神に心から感謝しました。

## 紹介したいチームメイト

### 松本玄太 (東京都在住 ボランティアグループ「チーム江古田」メンバー)

今回紹介したい「神の国のチームメイト」である松本玄太くんは、私と同じ1977年生まれのクリスチャンで、ピアニストです。練馬グレースチャペルのゴスペルクワイヤのピアノを弾くようになったことがきっかけでイエス様に出会い、2007年に洗礼を受けクリスチャンになりました。私が練馬グレースチャペルの牧師横田義弥氏からはじめて玄太君を紹介されたのは、インドから帰ってきた2008年の秋のことだったと記憶しています。東京に出てきて間もない不安な私にとって、教会に同い年の信仰者がいることは心強く、とても励まされました。



2009年3月にエチオピアから帰ってきてから、玄太君と私は一緒に遊んだり互いのビジョンについて語りあったりする中、「イエスの愛で江古田に仕えたい」という情熱を共有していることを知りました。ちょうど1年前の夏に、江古田駅北口の「ゆうゆうロード」で、玄太君と共に「いつか江古田のいたるところでクリスチャンが地域の人々に仕えるような、ダイナミックな働きを展開するのを見せてください。江古田に神の国が来ますように。」と祈りました。一年後の現在、私たちはその一部をこの目で見ています。神様は私たちの祈りを聞いてくださり、時には私たちが考えている以上の方法と早さでその祈りを実現してくださるお方であることを、玄太君と私は身をもって体験しました。

玄太君は現在、ゴスペルピアノの仕事やアルバイトをしながら、練馬グレースチャペルの信徒神学校「CTC」の学生であると同時に、チーム江古田の屋台骨を支える中心的活動家として活躍しています。江古田に10年以上住んでいる玄太君は、他の誰よりも江古田の地域の特性を知り、そして何より、江古田という街を心から愛しています。聞き屋、ゴミ拾い、「江古田クリーン大作戦（地元の大学生を巻き込んだゴミ拾い）」など、彼のボランティアメンバーとしての働きは創造性と主体性に富み、他のメンバーに活力とインスピレーションを与えるものです。彼がいなければ現在の江古田での聞き屋の状態はおそらく存在していないと思います。

エチオピアで私が出会った、アジスキダン教会の若手スタッフでメカニサコミュニティという貧民街で地域活動家として用いられているデイビッド氏という青年がいます。彼が持っている御国の地域変革者としての最も印象的であった資質は「地域のことを如何に良く知っているか」というものでした。彼は自治体の職員以上に深く地域を知り、彼が歩けばあらゆる階層、職業の人々が親しみをこめて声をかけているのを、私は一緒に歩きながら見ました。少し大げさかもしれませんが、「もし今イエス様がエチオピアに生きられたら、これに近いような状態になるのではないか」と思ったものでした。

日本とエチオピアでは文脈が違いますが、玄太君の生き方は、デイビッド君に通ずるものがあります。彼の人生を通して神様が働いてくださっているのが、近くにいてハッキリと分かります。このような友人と出会わせてくださった神様に心から感謝しています。個人的にも、私と原則毎週、罪を告白し合い、祈り合う時を持っており、私は何度彼の祈りに助けられたか分かりません。

彼の故郷は広島県にあり、いつかは広島に帰り、江古田での活動経験を活かしてゴスペルや地域を元気にする活動をしていきたい。神の御心ならば故郷で教会を開拓したい、という夢を持っています。神様がそのビジョンを実現すべく必要なものを与え、導いてくださるよう、皆様にもお祈りいただけると幸いです。



聞き屋をする玄太君

## 祈りの課題

◇私のうちにキリストの似姿が形作られるように。

◇霊的、社会的、身体的、経済的な必要が満たされ、神に喜ばれる活動を続けられるように。

◇良き出会いがあるように。神が出会わせたいと願っておられる個人やグループに出会う事が出来るように。

◇F V Iの奉仕を通して、神がご栄光を受けられるように。特に管理運営の働きがまだ不十分な状態にあるため、必要な助けが与えられ、教会、個人などの支援者に信頼され、喜んで支えていただけるような団体として知られるようになるように。

## 今後の予定

月日	内容	場所
10月5-7日	F V I リトリート	万座温泉ホテル (群馬県)
10月10日	セミナー奉仕	ユアチャーチ (群馬県)
10月30日	世界食糧デー大会、海外活動報告	福島県郡山市
10月31日	地域変革セミナー	伊那福音教会 (長野県)
11月9日-12月3日	セミナーおよび全人宣教フォローアップ	宮古島、久米島、沖縄本島
12月8-10日	F V I リトリート	万座温泉ホテル (群馬県)
2011年1月31日	F V I 役員会	未定
2011年2月~3月 (未定)	パートナー団体の模索	エチオピア等
2011年6月	DNAリーダー会議	アリゾナ (アメリカ)
随時継続的に	国内啓発活動、フォローアップ	国内各地

## 連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」

Email shunjinnai1128@yahoo.co.jp ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

## 支援のための献金方法

私の活動は、すべて支援者の皆様の支援献金によって行っております。経済的支援にご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ゆうちょ銀行に口座をお持ちの支援者様は、郵便貯金口座から直接振り込んでくださることも可能です (手数料無料)。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-9-1889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名 (店番)：〇八九 (ゼロハチキュウ) (089) 預金種目：当座  
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵便振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」  
(prayer letter 同封の振込用紙がご利用いただけます。)

\* ブログから Prayer Letter をダウンロードくださった方でも、お手数ですが上のいずれかの方法で支援金をお振り込みください。振込用紙をご入り用の方は、必要な枚数と住所、お名前を記載の上、上記連絡先までお知らせください。

\* 2カ月に一度、プレーヤーレターに2枚 (2か月分) お送りさせていただく振替口座の振込用紙 (赤色・手数料当方負担) を同封させていただきますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。

\* 郵便貯金からの自動引き落としを利用されたい方は、上記連絡先までお知らせください。必要な資料を送付させていただきます。

\* Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。